

滋賀県公安委員会定例会議会議録

第1 日時

令和8年5月21日（木）午後1時30分～午後2時47分

第2 出席者

1 公安委員会

北村委員長、上田委員、高橋委員

2 県警察

池内本部長、荒谷警務部長、山口生活安全部長、船越刑事部長、井上交通部長、坂梨警備部長、古川首席監察官、筒居警察学校長、竹本通信庶務課長（森川情報通信部長代理）

第3 議事の概要

1 協議事項

滋賀県公安委員会の権限に属する事務の専決に関する規則の一部改正案等について

山口生活安全部長から、滋賀県公安委員会の権限に属する事務の専決に関する規則の一部改正案等について説明があり、協議の上、原案のとおり決裁した。その際、上田委員から「専決の区分を明確にすることで迅速な事務処理が可能になると感じている。」、高橋委員から「現実的な課題を迅速に処理していくための改正は、大事なことであると思う。」旨の発言があった。

2 報告事項

(1) 令和8年4月末の犯罪情勢について

山口生活安全部長から、令和8年4月末の犯罪情勢について報告があった。その際、上田委員から「刑法犯認知件数は上がっているものの、検挙件数も大幅に増加しているので、各種取締りの成果が出ているものと評価できる。引き続き、各種対策等を推進されたい。」、高橋委員から「検挙率も上がっているので、警察が頑張っていて、県民を守っていると感じている。警察の仕事の範囲が広がっているところであるが、引き続き、各種業務を推進されたい。」、北村委員長から「民間においても、詐欺被害の防止に向けて、会社等で啓発を広めていく努力が重要だと感じている。引き続き、被害防止に向けた啓発や各種施策を推進されたい。」旨の発言があった。

(2) お試し自主返納+運転ライフ見直し事業の実施について

井上交通部長から、お試し自主返納+運転ライフ見直し事業の実施について報告があった。その際、上田委員から「免許を返納した後の生活を体験してみることは意義深く、家族が背中を押すことも重要なので、引き続き、各種施策を推進されたい。」、高橋委員から「年を取ると、自身の身体能力等に関するセルフモニタリング力が低下するので、家族の働きかけも大事だと思う。免許返納をお試しすることは、もう免許がなくても大丈夫だと実感してもらえらる機会になると思う。」、北村委員長から「広く県民の皆様に、啓発動画を見ていただくなど、引き続き、各種施策を推進されたい。」旨の発言があった。

第4 個別報告・決裁関係

1 報告事項

特定抗争指定暴力団等について

組織犯罪対策課から、特定抗争指定暴力団等に関する報告があった。

2 決裁関係

(1) 運転免許行政処分について

運転免許課から、運転免許取消処分対象事案等について、事案の内容並びに意見聴取及び聴聞の結果の報告を受け、協議の結果、7件について行政処分を決定した。

(2) 警察署協議会委員の辞職について

総務課から、警察署協議会委員の辞職について説明があり、協議の上、原案のとおり決裁した。

(3) 公安委員会に対する苦情の申出の受理について

総務課から、公安委員会に対する苦情の申出1件の受理について報告があり、これを了承した。

(4) 公安委員会に対する苦情の申出に係る処理結果について

総務課から、公安委員会に対する苦情の申出に係る処理結果4件について説明があり、協議の上、原案のとおり決裁した。

(5) 現用公文書の延長・移管・廃棄等について

総務課から、現用公文書の延長・移管・廃棄等について説明があり、これを了承した。

(6) 行進及び集団示威運動許可申請取扱状況（4月）について

警備課から、行進及び集団示威運動許可申請取扱状況について報告があり、これを了承した。

(以上)